

ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

6

No.748

P2 特集

「ストップ・ザ・無縁社会」絆つなげる 明日へつながる⑪
福祉の仕事は魅力的!

P6 「ストップ・ザ・無縁社会」広がれ! 全県キャンペーン

P7 みんなでつくるひょうごの福祉

障害者の工賃向上を目指して～「ジョブステーション西宮」の取り組みから～

P8 あなたのまちの社協ナビ

加東市社会福祉協議会

P9 地域を駆ける! ワーカー物語

「主役は地域!」を大切に、「社協らしい支援」を心掛けたい
朝来市社会福祉協議会 池野 信博さん

P10 ひょうごの福祉NOW

P11 みんなの広場

P12 インフォメーション



6月は
「男女雇用機会
均等月間」
だよ!



「ストップ・ザ・無縁社会」 絆つなげる 明日へつながる⑪ 福祉の仕事は魅力的!

「無縁社会」を乗り越えるためには、地域における見守り・支え合いはもちろんのこと、支援が必要となった人たちの生活を支える福祉専門職の役割が大きい。

しかしながら、「人口減少社会」といわれる現代において、福祉職場における人材確保はとりわけ大きな課題となっている。

今回の特集では、多様化する福祉・介護ニーズに対応する福祉職場の魅力を、現場職員からのメッセージなどを通して伝えとともに、福祉人材センターの活動を紹介します。



「福祉の仕事」を巡る動向

「無縁社会」の背景にある少子高齢化の進行や世帯構成の変化、ライフスタイルの多様化は、生活課題の多様化・複雑化を招くとともに、福祉・介護ニーズの量的な増加や質的な変化を確実にもたらしつつある。

国の推計によると、介護職員は平成24年度の約149万人に対し、団塊の世代が全て75歳以上になる平成37年には約237〜249万人が必要とされている。兵庫県老人福祉計画でも、平成24〜26年度の3年間に県内で1万4,400人の新たな福祉人材が必要とされている。

しかしながら、「人口減少社会」といわれる中で、全産業の就業者数は平成22年の6,298万人から平成32年には最少で5,937万人に落ち込むと推計されており、福祉職場における求人確保に充足できる対策が、早急に求められている。本会会員をはじめとする県内の福祉関係者からも人材確保に向けた切実な声が聞かれている。

一方で、介護報酬改定などにより介護職場における就労環境の改善に向けた条件は徐々に整いつつある。介護労働安定センターが実施した介護労働者の意識調査結果(平成23年度)を見ても、半数以上の職員が「仕事の内容・やりがい」に満足し、「働き続けられる限り」仕事を継続したいと考えるなど、「福祉の仕事」のイメージも徐々に変わりつつある。国においても、今や福祉分野は大きな需要が存在する「地域における成長分野」と位置付けられており、介護職員や保育士などの福祉人材は大いに注目されている。福祉の仕事」が持つ魅力は、いま確実に増しつつあるといえるだろう。

福祉の職場で働くために

一言に「福祉の仕事」といっても、さまざまな分野があり、職種や関係する資格も多様である。「福祉の仕事」を目指すにあたって、意識すべき点としては、どのようなものがあるのだろうか。障害者支援施設三愛園

施設長の森田智裕さんより、福祉職場への就職に向けた4つのポイントを示していただいた。

①「そもそも「働く」とは

「働く」は、「人」のために「動く」と読むことができます。私自身、いつもこの視点を心掛けてきました。福祉の仕事は「働く」という言葉の意味に適合した素晴らしい仕事です。

②「福祉の仕事の魅力」とは

福祉の仕事では、支援を必要とする方を専門的見地から応援して、自分も幸せな気持ちになっていくという効果と、支援として投げ掛けたものが、利用者を介して自分自身に戻ってくるという効果の両方を得ることが出来ます。やりがいや幸福感を手にする機会が、福祉のどの分野にも必ずあります。

③「求められる人物像」とは

組織で「人材」に育っていくためには、専門性を高めることはもちろんですが、人として当たり前のことを丁寧に積み重ねることも大切です。

いつでも誰にでもきちんと「挨拶」し、誰も見ていなくてもきちんと役割を果たし、他人の考えを「素

直」に聞ける方は、立派に成長していきますし、そのような方を現場は求めています。

④「就職先の選び方」とは

自分にとっての優先順位をつけながら、なぜ福祉の仕事なのか、なぜその施設なのかなどについて書き出してみたり、現場に足を運び、見たり聞いたりすることによって、迷いが消え、自分がやりたい方向性が見えてきます。

(平成24年度第2回福祉の就職ガイダンスの講演内容から)

身近な人の福祉サービスの利用など、福祉の仕事に興味を持つきっかけは、人さまざまだろう。現在では、若年層を対象とした学校や地域での福祉学習の意義も注目されている。多様な生活環境、価値観の混在する私たちの地域の中で、互いを認め合い、支え合うことを考える福祉学習は、「無縁社会」を乗り越える地域づくりの基礎となり、より専門的に地域を支える「福祉の仕事」への関心の高まりにつながるものだ。福祉関係者と教育関係者の連携や、さまざまなレベルでの意見交換が行われるなど関心が高まっている。



福祉の仕事には、たくさんの笑顔と喜びがあふれている

先輩からのメッセージ①

介護福祉士 興裕 理絵さん
一般財団法人 甲南病院 甲南介護老人保健施設(神戸市東灘区)



私が介護福祉士を目指したきっかけは、阪神淡路大震災とボランティア活動で高齢者や障害者を持つ人と関わる体験をしたことです。活動する中で、年齢に関係なく人が人を支え、また、どんな障害があっても前向きに頑張る方の姿を間近で見て、その素晴らしい姿を感じ、私も支える側になりたいと思いました。

福祉の仕事のやりがいは、一言でいうなら「努力は必ず報われる」です。

私の忘れられない体験は、寝たきりの方が、立つことが出来るまで回復したことです。入所当初は、食事を食べることもできず、胃腸薬を行っていましたが、短時間の離床介助から開始し、介護福祉士の知識を最大限に生かし、リハビリや栄養課と協力した結果、1年後には、お粥と刻み



お役立ち情報

福祉人材センターをご活用ください!

1 「福祉のお仕事」ホームページ～「求職者マイページ」のご案内～

「福祉のお仕事」ホームページでは、全国の福祉分野の求人情報がたくさん掲載されており、いつでもお仕事を探すことができます。また、この4月から、より効率的に仕事探しができるよう「求職者マイページ」の機能が追加されました。ぜひご活用ください。



<http://www.fukushi-work.jp/>

「求職者マイページ」に登録すると、希望条件にあう求人票を毎日自動で検索し、検索結果は「求職者マイページ」からチェックできます。また、新着求人や希望する地域の就職フェアなどのお知らせをメールでもお届けします。ぜひ、「求職者マイページ」に登録し、求職活動にお役立てください!

2 福祉体験学習事業

どんな種類の福祉施設があり、どんな仕事なのか、実際に「現場」を見てみなければ分からないことも多いものです。「福祉体験学習事業」を通じて、実際の福祉職場を体験してください。

本会ホームページの福祉人材センターのページより、「福祉体験学習事業」のページをご確認ください。チラシ、福祉体験学習申込書、県内受入施設・事業所一覧をダウンロードできます。

<http://www.hyogo-wel.or.jp/work/index.html>

●「福祉体験学習」までのステップ

- ステップ1** 福祉人材センターへ「福祉体験学習申込書」を提出ください。
⇒人材センターより申込書を返却し、「福祉体験学習登録証」を交付します。
- ステップ2** 受入施設・事業所一覧をもとに、体験学習を行う施設・事業所を決定します。
- ステップ3** ご自身で施設・事業所の担当者へ直接連絡し、体験日時等を相談の上、施設・事業所へ「福祉体験学習申込書」「福祉体験学習登録証」の写しを提出します。
- ステップ4** 約束の日時に施設・事業所を訪問し、福祉体験学習を行います。

3 平成25年度 福祉の就職フェア・説明会の日程

福祉関係事業所と求職者の面談の場を設けること、福祉の仕事への理解を促す機会を設けることを目的として、下記の日程で「福祉の就職総合フェア」ならびに「福祉の就職説明会AUTUMN」を開催します。

※就職総合フェアでは、福祉の仕事の魅力が聞ける!「福祉の就職ガイダンス」を同時開催します。

名称	開催日	会場
第1回 福祉の就職総合フェア in HYOGO	平成25年 6月30日(日)	神戸国際展示場 3号館
福祉の就職説明会 AUTUMN in HYOGO (明石会場)	平成25年10月24日(木)	明石市立産業交流センター 展示場
福祉の就職説明会 AUTUMN in HYOGO (姫路会場)	平成25年10月31日(木)	イーグレひめじ あいめっせホール
福祉の就職説明会 AUTUMN in HYOGO (尼崎会場)	平成25年11月 6日(水)	尼崎市総合文化センター アルカイックホールオフト
第2回 福祉の就職総合フェア in HYOGO	平成26年 3月 1日(土)	神戸サンボホール

上記以外の事業でも求職者や事業所の方を応援しています!

【問い合わせ先】兵庫県福祉人材センター ☎(078)271-3881 FAX(078)271-3882

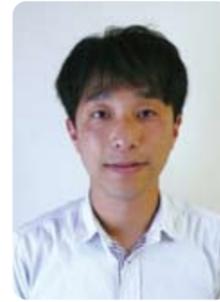


食を自ら食べ、おむつではなくトイレで排泄できるようになりました。利用者をはじめ皆の努力が報われた瞬間です。

私たちの仕事は利用者と共に一つ一つの課題を乗り越え、その人らしく生活することを支えることが仕事です。私も介護福祉士として、まだまだ、成長の途中です。少しでも理想の介護が実現できるように頑張りたいです。

先輩からのメッセージ②

社会福祉士 山下雅夫さん
社会福祉法人ヨハネ会 いたやと障害者地域生活支援センター(神戸市須磨区)



私が福祉の仕事に関心を持ったきっかけは、祖父が認知症になったことでした。福祉専門職の支援により、祖父や周囲の家族は生き生きとした表情を見せるようになりました。利用者のニーズを把握してサービスの紹介・橋渡しをするのが、利用者とその

の家族全体の生活はより良いものになります。そういった福祉の仕事に魅力を感じて、社会福祉士の資格を取ることに決めました。

私が勤務する障害者地域生活支援センターとは、電話、来所、訪問などで、利用者のより良い生活を一緒に考える相談窓口です。利用者や家族、福祉や教育に関わる関係機関や障害者団体と密接な連携を図り、障害のある人、ない人が共に暮らす地域づくりを行う、地域自立支援協議会にも関わっています。

この仕事は、利用者と一緒に良い支援を模索し、後ろから支える「黒子」のような役割だと私は考えています。生き生きと生活していく利用者の姿を見ることが仕事のやりがいにつながっています。

時には辛いこともありますが、多くの喜びや充実感があります。利用者から教わることも多く、これも対人援助職ならではの醍醐味だと思います。



現場発信で「魅力ある仕事」への転換を!

一般社団法人 兵庫県介護福祉士会 会長 安達眞理子



福祉の仕事は、人の役に立ち、また感謝されることの多い仕事です。これは介護現場の職員の多くが実感していると思います。利用者さんが、自分らしい生活が送れるように支援し、笑顔を引き出せる仕事としてやりがいのある仕事です。

だからこそ、「あなたのおかげで」「ありがとう」の言葉の奥に、利用者一人一人の思いや心身の状況や関わり方の違いにしっかりと対応できているかと悩むこともあるかと思っています。

さまざまな経験をもつ利用者の生活に深く関わる対人援助サービスであるが故に、精神的な厳しさや責任の重さは避けられません。自分自身の知識や技術を日々磨いていく必要がある仕事です。その自己研鑽からこの仕事で感謝されることや役に

立っているという意識と同時に、自分分は、利用者やこの仕事から育ててもらっている、成長につながっていることを実感している素敵な介護職の方がたくさんいます。介護は人と接する仕事です。最も重要視するのは人間性です。素敵な介護職の周りには、同じ志を持った人たちが集まっています。一人一人の意識が、より良質の満足度の高いサービスにつながり、離職者やクレームの軽減にもつながり良循環となり、より魅力的な仕事となっていくことではないでしょうか。

ただ残念なことに介護職は、子どもたちの「なりたいたい仕事ベストテン」に入っていないのが現状です。「介護の仕事は大変」というイメージが先行して、仕事が見つからない、給与が低い、将来展望が見えないといった負のイメージが強調されてきました。現在介護職として従事している方たちから「魅力ある仕事」としてイメージ転換していきましょう。介護福祉士には、倫理綱領に「後継者の育成」が明記されています。先輩を温かくしっかりと指導していくことから自分の成長にも気付き、より魅力的な仕事となり、結果同じ志を持った多くの後継者が育っていくのではないでしょうか。

障害者の工賃水準を高めるために、国や都道府県においてさまざまな取り組みがなされているよ。今回は、西宮市独自の事業を受託し、企業や行政からの作業等の依頼を共同で受注する窓口を担う「ジョブステーション西宮」の取り組みを紹介するよ。



みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする取り組みを紹介します。

市内の事業所による 自主的な組織

「ジョブステーション西宮」は、就労支援事業所等で非雇用の形態で働く障害者の工賃向上を目的に設立された中間支援組織だ。

授産活動の活性化のため市内の事業所により平成14年に自主的に組織化された西宮市授産活動振興委員会を母体として、平成23年にNPO法人として立ち上がった。

現在は、市内の28の就労継続支援B型等の事業所により構成され、西宮市が独自で実施する福祉的就労支援事業を受託している。当初は社会福祉法人新生会の一角に事務所を置いていたが、平成25年には法人格を一般社団法人として事務所も独立した。スタッフは事務局長の柴田圭さん1人である。

作業の受注を共同の窓口で

ジョブステーション西宮の一番の特色は、これまで事業所が個々に行っていた企業からの作業の受注や製品の販路拡大の窓口を、一括して同団体が担うことにある。企業から作

障害者の工賃向上を目指して

～「ジョブステーション西宮」の取り組みから～

受注した清掃作業の様子



事業所のスタッフと打ち合わせ

業所で担うことによって、請け負う作業量が全体的に増加した。これは団体の設立目的でもある工賃向上につながっている。平成24年度の工賃は前年度比で平均約7%（理論値）増加し、利用者自身のやりがいの創出につながっている。

また、企業や行政など、作業を発注する側にとっても大きなメリットがある。作業をどこに依頼したらよいか分からない場合に、適した事業所につないでもらうことができるからだ。

葛藤しつつ歩み続ける

一方で、課題も見えてきた。事業所の人員や設備により、作業量には当然限りがある。今後は利用者の高齢化や障害の重度化も予想されるこ

取材を終えて

設立から3年で効果が見えてきた背景には、事業所と同団体の顔の見えるつながりがあるからだと思いました。日々のやりとりの中で知る事業所の特徴や事情を配慮してコーディネートができることは大きな強みであり、事業所・企業の双方との信頼関係にもつながります。平成25年4月に施行された障害者優先調達推進法を追い風に、このような中間支援組織の取り組みが県内各地に広がることを期待します。

一般社団法人 ジョブステーション西宮
西宮市染殿町5-13-502 ☎090-7750-9312

<https://sites.google.com/site/jobstationnishinomiya/>



「ストップ・ザ・無縁社会」
広がれ! 全県キャンペーン
<http://stop-muen.jp>

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの最新情報や、支え合いのメッセージをお伝えします。

メッセージ

「企業=法人」として地域社会にいかに向き合うか

企業は法人ともいう。社会において活動するのは自然人(個人)だけではなく、法的人格を付与された「企業=法人」もまた社会の一員として活動する。

つまり、「企業=法人」としての社会との付き合い方を考えると、「企業=法人」は単独では存続し得ない。社会の持続的発展に寄与することで初めて「企業=法人」は存続し得るものとする。

さて、戦後の高度成長期の企業は小さいながらも青年期の若々しさをもって、立地する地域の中で、地域住民とも「花見」「夏祭り」「運動会」などを通じて交流が盛んであった。この種の付き合いから、自然に企業と地域社会との友好的な関係も生まれていた。このような姿も地域社会における企業のあるべき形の一つであったし、今日的にもこのような良好な関係を保って

いる企業は幾つもある。この姿だけを特に強く推奨するものではないが、心温まる懐かしさと、将来に向けた希望が湧き上がるのは禁じえない。しかし、経済が著しくグローバル化した現在、企業の活動範囲が広がり、地域社会との付き合いは希薄になっているところも出てきている。

今後の、「企業=法人」のありようとして、特に立地する地域社会に関係をもたない「無縁」ではなく、自社なりの「有縁」を判断し、ともに持続的に発展する道を探っていくことも必要であると思う。



兵庫県経営者協会
会長 寺崎 正俊さん

TOPICS

市町社協職員による研究会・会議の報告書を発行!

兵庫県社協ではこのたび、平成24年度に設置した研究会・会議の報告書を発行しました。

いずれも、「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの趣旨を踏まえ、孤立を防ぐ地域づくりに向けたアプローチを提起する内容です。今年度もこの流れを汲み、地域での切れ目のない支援体制づくりをテーマにした研究会や会議を設置する予定です。3種類の報告書は、本会のホームページからダウンロードできますので、ぜひ推進団体の皆さまもご覧ください!

- ①見守り活動サポートブック
- ②社協マネジメントノート
- ③ボランティア・コーディネートの秘訣

問い合わせ先

兵庫県社会福祉協議会
地域福祉部(☎078-242-4634)

①安否確認だけでなく! 支え合う地域づくりに向け見守りの進め方を提起

②組織も地域も脱タテ割、「ヨコくし力」アップのための演習を掲載



③みんなが力を発揮でき、福祉のまちづくりにつながるボランティア・コーディネートの秘訣を発信

全県キャンペーンの今後の行事予定

6月19日 全県キャンペーン推進協議会 幹事会
8月下旬 同 総会・記念講演会

このコーナーでは、県内の社協職員など“地域福祉を進める人々”の活動を取り上げながら、ワーカーとしての想いを伝えます。

平成21年の台風9号災害発生時に、生活道路が陥没し、一時孤立状

印象に残るエピソードは？

「福祉の仕事など無い」と感じましたが、「福祉は人なり」といいますが、人とのつながりや関わりは生命線であり、信頼関係を大切にしていきたいと思ったのが私の原点です。

力を入れたい活動は？

市社協全体で取り組みを進める「地域支援員」の活動です。私も地域支援員の一人です。この活動は、コミュニティワーカーだけでなく、ホームヘルパーやケアマネジャーなども含め、職員が職種の枠を超えて各地区に出向き、地域課題を把握・検討して、住民と共に解決に向けた実践を積み重ねる、いわば社協の原点回帰といえる取り組みです。

大切にしていることは？

社協ではなく、主役は地域や当事者の方々！ その方々が本来持つ力を高める「エンパワメント」を進めるため、「黒子」として支援することを大切にしていきたいです。

例えば、高齢でボランティア活動を

地域を駆ける！
ワーカー物語

あなたの原点は？

初めは「社協って何？ 公務員と何が違うの？」というくらいで、地名を覚えることからスタートしたほどです。最初は社協に入ってからでした(笑)。とはいえ、職員になり最初に気付いたことは、自治会の区長さん、民生委員さん、ボランティアさん、老人クラブの役員さんなど、地域の中に「住んでいるまちを良くしよう」という思いを持つ方がたくさんいることでした。この人たちを巻き込まずに福祉の仕事など無い、と感じました。「福祉は人なり」といいますが、人とのつながりや関わりは生命線であり、信頼関係を大切にしていきたいと思ったのが私の原点です。

「主役は地域！」を大切に、
「社協らしい支援」を心掛けたい



住民同士で地区の活動を熱心に話し合う

朝来市社会福祉協議会
池野 信博さん

Personal History

- 27歳 朝来町(現朝来市)社協に入局
- 36歳 地域福祉課・介護保険事業所いきいき介護センターへ異動
- 37歳 朝来市地域福祉推進計画の担当の一人として携わる
- 38歳 地域支援員業務に携わる
- 40歳 朝来支所へ異動



止めようと思った方が、活動相談する中で「もうちょっとがんばれるわ」と活動を継続してくださることもあります。そんな小さなことが自分事のようにうれしく、地域の方々の前向きな言葉にこちらが勇気をもらいます。

取材を終えて
「主役は住民。社協職員はあくまで脇役に謙遜しながら取材に応じてくださった池野さん。地域に出向き、主役である住民の声に耳を傾けるワーカーとしての日々の関わりが、素材でも力強い住民の取り組みを生み出していることを実感しました。」

あなたのまちの社協ナビ

市町社協の取り組んでいるさまざまな活動を紹介します。

活動を
もっと詳しく
知りたい方は

加東市社会福祉協議会
☎0795-42-2006

加東市社協

検索



デイサービスで買い物支援!



「買い物に行って、自分で選んで買いたい」高齢者のこうした願いを叶えようと、加東市社協の東条デイサービスセンター(以下、「東条デイ」)では、今年度から買い物支援を始めた。

毎月3週目を「買い物ウィーク」にし、希望する東条デイ利用者が近所のスーパーやホームセンターに出掛けるというもので、ほぼ全員が手を挙げる人気プログラムだ。たとえ相手が家族でも、いつもお願いして買ってきてもらうのは遠慮がある。東条デイの買い物支援は、利用者の自己決定に基づく生活支援であるとともに、普段とは逆の立場で家族に頼まれたものを買ってあげるという、高齢者のちょっとした役割作りにもなっている。

活動の中で

東条デイは、毎月の買い物支援以外にも年に2回程度、市外の大型ショッピングモールへ買い物ツアーを実施している。利用者は、ボランティアと行きたいお店で思い思いに昼食と買い物を楽しむ。ボランティアは普段から東条デイに出入りしていて、利用者と顔なじみの人も多い。

「顔を見に来たで」と気軽に地域の人たちがデイに入って来てくれるんです。地域の人たち抜きにケアはできません」と東条デイ管理者の藤原さんは話す。



ボランティアが慣れた手つきで車いす介助

東条デイだけでなく、加東市社協の3カ所のデイサービスセンターは、「地域と共に育つデイ」を掲げ、ボランティアの参画を大切にしている。デイサービスが利用者にとって特別な空間になるのではなく、できるだけ地元の支え合う関係の中で当たり前空間になることが、加東市社協が目指すデイサービスである。



「夕食食べたこともあるんやで」みんなでワイワイ回転ずし

活動のポイント 買い物支援を通した高齢者の生きがい・生活支援&地域とのつながり支援

取材を終えて

買い物ツアーに同行して驚いたのは、利用者一人一人の希望に沿って、ボランティアがごく自然に介助を行っていたことでした。これは、利用者・ボランティア・介護職員の日頃の関係性がなければできないことです。「いつまでも自分らしく生きることの支援」はとても難しいことですが、そのカギは、「利用者・ボランティア・介護職員の垣根を超える関係」と「地域と共存すること」ではないかと思いました。

会長から

加東市は、平成24年度「県の住み良さランキング」第4位にランクされました。しかし、平成18年の合併以降、人口は現状を維持しているものの高齢化率は23%と進行しています。加東市社協は組織強化を目的に、現在、社協発展強化計画を策定しており、あわせて第2次地域福祉推進計画を平成27年度からの加東市の地域福祉計画と歩調を合わせ、策定することにしました。その中で通所介護事業は重要な位置を占めております。利用者に関わり添った質の高い介護保険サービスをモットーに、社協の持つ地域福祉事業と連携を図りながら、地域の皆さまと共に育つデイサービスとして、安心して利用できる介護サービスを目指しています。

加東市社会福祉協議会 会長 吉村 進吾



兵庫県経営協
第33回総会・
記念講演会開催

5月14日、兵庫県社会福祉施設
経営者協議会の第33回総会・記念
講演会がANAクラウンプラザホ
テル神戸にて開催された。

開会に際して、井戸敏三兵庫県
知事が来賓を代表して祝辞を述べ
られた。総会では、事業報告・決算
事業計画・予算とともに、役員改選
を審議し、会長・副会長が再任され
た(左表参照)。

また、本会の組
織目的を明示
するため「兵庫
県社会福祉法
人経営者協議
会」と名称を
変更すること
となった。

	氏名	法人名
会長	婦木 治	みつみ福祉会
	黒川 恭真	みのり福祉会
副会長	谷村 誠	みかり会
	吉田 隆三	あいむ



「社会福祉法人の意識改革が必要」と語る山崎さん

続いて、「今後の社会保障制度の
姿」社会福祉法人経営者の見るべ
き視点」と題しての記念講演会
が行われた。講師の神奈川県立保
健福祉大学名誉教授で社会保障制
度改革国民会議委員でもある山崎
泰彦さんから、社会保障費の将来

推計などが示され、これからの社
会保障は医療・介護の給付がメイ
ンになり、これまで先送りされてき
た「給付と負担のバランス」の議論
は避けて通れない喫緊の課題であ
ると強調された。

また、内部留保をはじめとした
社会福祉法人への批判に対しては、
財務状況を明確にした上で、非課
税扱いにふさわしい「低所得者への
生活支援」等の地域貢献に取り組
むこと、加えて一層の経営の合理
化を図るよう提言がなされるな
ど、あらためて社会福祉法人の進
むべき道筋を考える機会となった。

第52回兵庫県
社会福祉夏季大学の
開催

現在、社会保障制度のさまざまな
改革が進められつつあるが、私たち
が目指す「支え合い社会」を実現す
るためには、一人一人がお互いの多
様性を認め合うとともに、他者や社
会との多様なつながりのある社会
を築いていくことが大切である。

第52回目となる今年度の社会福
祉夏季大学では、「ストップ・ザ・無縁
社会」全県キャンペーンの一環とし
て、これからの新たな福祉社会を

現していくための課題と方策を、参
加者とともに考える機会として開
催する。

基調講演では、前大阪大学総長の
鷲田清一さんより、震災を経てつな
がりの大切さがあらためて強調され
る中で、これからの地域づくりに向
けて必要な視点をお話しいただく。

パネルディスカッションでは、元N
HKキャスターの町永俊雄さんを
司会に招き、「無縁社会」「孤族の国」
などと呼ばれる現代の社会状況に
ついて、第一線の新聞記者等の目を
通して見た実態と今後の展望を議
論いただく予定です。

第52回社会福祉夏季大学

日時 平成25年7月29日(月)13:00～16:35
会場 神戸芸術センター 芸術劇場
(神戸市中央区熊内橋通7丁目1-13)
参加対象 地域福祉に関心のある人(定員800人)
聴講料 3,000円

スケジュール

13:00	開会
13:20～ 14:50	基調講演 「認め合い、ともにつながる社会に向けて」 鷲田 清一さん (哲学者、大谷大学教授、前大阪大学総長)
15:00～ 16:30	パネルディスカッション 「報道機関が捉えた“無縁社会”」 司会:町永 俊雄さん (元NHK福祉ネットワークキャスター) パネリスト:朝日新聞・毎日新聞・読売 新聞・神戸新聞の各担当記者
16:35	閉会

※開催要綱は本会のホームページ(<http://www.hyogo-wel.or.jp/>)よりダウンロード可能。

問い合わせ先 兵庫県社会福祉協議会 総務企画部
☎078-242-4636

みんなの広場

兵庫県社協の会員からの情報発信コーナーです

東日本大震災の被災地を継続的に支援

のじぎくクラブ兵庫(兵庫県老人クラブ連合会)

のじぎくクラブ兵庫では、東日本大震災直後から県下の市町
老人クラブ連合会で義援金や手作りの巾着袋に生活必需品を
入れ、手紙を添えた「元気袋」を届ける活動に取り組みました。

季節ごとの支援として、夏には女性会員が製作した播州織の
帽子、絵や押花でメッセージを添えた元気うちわ、冬には湯たん
ぽや手作りのクリスマス仕様のキャンディ入り小物入れを仮設
住宅入居者に送りました。東北の被災地に一日も早く美しい花
が咲く日を願って送ったゴテチャ(色待宵草)の切花は、「沈んだ
気持ちが癒された」と大変喜ばれました。

高齢者は救援活動の前面に立つことはできませんが、遠く離
れた地からでも心を届けるという支援
ができることを実感しました。

また、心の癒しや元気回復の一助に
なればと兵庫県への招待交流活動に
も取り組みました。宮城県石巻市老連
会員19人と芦屋市老連・淡路ブロック
がふれあい交流を実施し、本会建立の



さまざまに彩られた「元気うちわ」

阪神・淡路大震災
記念碑や南あわじ
市老連管理の梅林
を見学していただ
き、高齢者の集い
では福島県楢葉町・
大熊町老連にダンスや郷土芸能を披露していただきました。

本年度は被災地の老人クラブとの視察交流と観光を兼ねた、
ふれあい・交流の旅や震災チャリティバザーなどに取り組む予
定です。復興までにはまだまだ長期間かかりますので、今後も
長い支援を続けていきたいと考えています。

連絡先

公益財団法人兵庫県老人クラブ連合会
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館 4階
☎078-332-0574 FAX 078-332-3556
E-mail hyorolen@oak.ocn.ne.jp
URL <http://www.hyorolen.or.jp/>



ゴテチャの切り花に被災地への思いを込める

アピールしたい活動の
情報をお寄せください。

問い合わせ先

兵庫県社協 総務企画部 ☎078-242-4633 FAX 078-242-4153 E-mail info@hyogo-wel.or.jp

ひょうご若年性認知症
生活支援相談センター

若年性認知症に関する悩みや相談を受け付け
ます。ご本人とご家族の生活に必要な情報
をお伝えするとともに、お住まいの地域の支援機
関をご紹介します。

設置場所 兵庫県福祉センター 4階
(神戸市中央区坂口通2-1-1)
業務時間 平日9時～16時(祝日、年末年始除く)
相談専用電話 ☎078-242-0601

ひょうご若年性認知症
生活支援相談センター
開設記念セミナー

日時 平成25年6月19日(水)13:30～15:30
会場 兵庫県福祉センター1階 多目的ホール
定員 150人
内容 オープニングセレモニー
開設記念セミナー

講演「若年性認知症の人と
その家族の支援を考える」
認知症介護研究・研修大府センター
研究部長 小長谷 陽子さん

ひょうご若年性
認知症生活支援
相談センターを開設
65歳未満で発症する認知症の人
は県内で1,600人いると推計さ
れている。その生活支援にあたって
は、医療・介護・就労などの観点から
総合的に対応することが望ましい
が、社会的な取り組みが十分に進ん
でいない現状にある。

こととなった。
仕事や家庭における悩みごとや
相談に対応するほか、日常生活で活
用できるサービスなどの情報提供
を行い、市町村の関係機関と協働し
ながら支援に取り組む予定です。
また本会では、同日に開設記念セミ
ナーを開催する。セミナーでは若年
性認知症支援に精通されている認
知症介護研究・研修大府センターの
小長谷 陽子研究部長に講演いただ
く。ごなたでも参加可能。
問い合わせは、兵庫県社協地域
福祉部権利擁護センター(☎078-
230-9290)まで。

助成金情報

福祉活動等に対する助成金の情報です。詳細は、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

公益財団法人 神戸やまぶき財団
平成25年度(第1回)社会福祉助成金

障害を持つ方および要保護児童の教育、自立支援、生活援助等のサポートを行う施設・団体、または高等教育および専門知識、技術などを習得しようとする活動を支援する施設・団体へ助成します。

対象 障害者および要保護児童を対象とした①施設の建設・修理・改造および備品の購入に対する経費②施設での送迎、または事業目的に使われる車両購入に対する経費③団体・ボランティアグループ等が行う地域密着型の社会福祉活動に対する経費④難病の小児患者およびその家族をサポートする団体、医療従事関係機関による治療・啓蒙等に対する経費

助成額 ①1件あたり上限200万円(30件程度)②1件あたり上限200万円(20件程度)③上限100万円(総額約1,000万円)④総額500万円

締切り 平成25年6月29日(土)消印有効

☎☎公益財団法人神戸やまぶき財団
TEL078-734-6120

URL <http://www.kobe-yamabuki.or.jp/>

社会福祉法人 清水基金
平成25年度一般助成事業

対象 障害児・者福祉の増進を目的として運営されている民間社会福祉法人の諸事業

助成金 ①総額2億2,000万円(予定)②1件あたり100万円以上700万円以内③申込法人が事業費の30%以上を負担④助成件数40~70件程度

締切日 平成25年7月31日(水)必着

☎☎社会福祉法人 清水基金
TEL03-3273-3503

URL <http://www1a.biglobe.ne.jp/s-kikin/youkou.html>

募 集

社会福祉主事資格認定通信課程
(民間・秋期コース)

社会福祉主事任用資格の取得を目的とした通信教育(面接授業含む)を実施します。

受講期間 平成25年10月1日(火)より1年間

受講資格 ①民間社会福祉事業、介護保険事業に従事していること②受講期間中、申し込み時の所属法人に勤務(予定)していること③業務と並行して受講することについて

所属長の承認が得られること

受講定員 500人

受講料 8万5,000円(テキスト・教材費、面接授業料、添削指導料を含みます)

締切り 平成25年7月1日(月)消印有効

☎☎全国社会福祉協議会 中央福祉学院
TEL046-858-1355

URL <http://www.gakuin.gr.jp/>

第11回高校生福祉文化賞
エッセイコンテスト

「わたしと福祉」をテーマにした高校生のエッセイを募集します。

対象条件 高校生

対象分野 ①人とのふれあい②あなたにとって家族とは?③わたしが暮らすまち④社会のなかの「どうして?」

作品規定 上記4分野のいずれか一つについての800字以内のエッセイ

賞 最優秀賞(各分野から1点ずつ):賞状・副賞(奨学金10万円)、優秀賞(各分野から2点ずつ):賞状・副賞(奨学金5万円)、審査員特別賞(各分野から1点ずつ):賞状・副賞(奨学金3万円)、学校賞(優れた作品を多く寄せていただいた高等学校)

締切り 平成25年7月31日(水)消印有効

☎☎日本福祉大学 TEL052-242-3045

URL <http://www.n-fukushi.ac.jp/>

研修・イベント

全国地域リハビリテーション
合同研修会 兵庫2013

日程 平成25年7月6日(土)、7日(日)

会場 ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター

参加費 事前受付3,000円、当日受付4,000円

☎兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター TEL078-927-2727

URL <http://www.hwc.or.jp/godo/>

障がい者の働く場
パワーアップフォーラム(大阪会場)

日時 平成25年7月12日(金)10:00~17:00

会場 大阪国際会議場(大阪市北区)

参加費 無料

☎ヤマト福祉財団 パワーアップフォーラム事務局 TEL03-3248-0691

URL <http://www.yamato-fukushi.jp/works/seminar>

日本ケアレク研修大会(大阪会場)

日時 平成25年7月27日(土)10:00~17:00

会場 アルフィック大阪(大阪市浪速区)

参加費 1万円

☎日本通所ケア研究会事務局

TEL084-971-6686

URL <http://www.tsuusho.com/>

行事予定

- 6月 4日~ 介護支援専門員専門研修課程I
7月10日 ◆県社会福祉研修所 他
- 5日 老人福祉施設新任職員研修(Bコース)◆県社会福祉研修所
- 10日 兵庫県地域包括在宅介護支援センター協議会 総会・講演会◆県民会館
- 12日 老人福祉施設新任職員研修(Cコース)◆県社会福祉研修所
- 13・14日 社会福祉援助基礎研修(Aコース)◆県社会福祉研修所
- 19日 ひょうご若年性認知症生活支援相談センター開設記念セミナー◆県福祉センター
「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン推進協議会幹事会◆県福祉センター
- 20日 県ホームヘルプ事業者協議会総会・管理者研修◆県福祉センター
- 21日 障害者福祉施設系事業所新任職員研修(Bコース)◆県社会福祉研修所
- 24日 保育所新任保育士研修(Bコース)◆県社会福祉研修所
- 26日 新任リーダー研修(Bコース)◆県社会福祉研修所
- 30日 第1回福祉の就職総合フェア◆神戸国際展示場3号館
- 7月 1日 県民児童主任児童委員部会全県研修会◆神戸市内
~2日
- 3日 県社協 権利擁護部会◆県福祉センター
- 4日 県社協 地域福祉推進部会◆県福祉センター
市町社協活動推進協議会幹事会◆県福祉センター
- 5日 県社協 福祉事業推進部会◆県福祉センター
- 19日 経営協 第226回理事会◆県福祉センター
- 25日 社会福祉法人経営計画策定ゼミナール(全4回)◆県福祉センター
- 26日 第2回県内社協事務局長会議◆県福祉センター
- 29日 第52回社会福祉夏季大学◆神戸芸術センター

ひょうご出会いサポートセンター

- 神戸出会いサポートセンター(緑結びサロン) TEL(078)381-6820
阪神南出会いサポートセンター TEL(06)6481-7370
阪神北出会いサポートセンター TEL(0797)26-7351
東播磨出会いサポートセンター TEL(078)920-9337
北播磨出会いサポートセンター TEL(0795)38-8022
中播磨出会いサポートセンター TEL(079)240-7005
西播磨出会いサポートセンター TEL(0791)58-1311
但馬出会いサポートセンター TEL(079)662-7701
丹波出会いサポートセンター TEL(0795)78-9130
淡路出会いサポートセンター TEL(0799)24-2717



1対1のお見合いを
紹介します!
お申し込みは
最寄りのセンターまで

公益財団法人
兵庫県青少年本部

サポートセンター本部 〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3
TEL(078)891-7415 FAX(078)891-7418

丸大食品

心に残る贈り物

丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。

お中元・お歳暮には、多くの各会員の皆様にご好評を頂き、誠にありがとうございます。当社では中元・歳暮用以外にも快気祝等のご進物用としてのご利用も承っております。今後とも宜しくご用命賜ります様、お願い申し上げます。



たっぷりの時間をかけて熟成させた最高級ハムギフト(HA-502)

丸大食品株式会社 関西特販営業課

〒557-0063 大阪市西成区南津守2-1-10